



肝付町の皆さんへ  
東日本大震災の直後、  
真っ先に大船渡に来て  
様々な支援をしてくださいました。そして私たちはとても助けられ  
ました。当時、何をし  
たら良いのか分からず困っていた私たちにと  
って、皆さんのが来てくだ  
さったことは、とても心強く、ありがたい  
ことでした。

6月2日 梅雨前線による大雨により、鹿児島県は、土砂崩れなど、多くの被害が発生しました。特に肝付町では、被害が大きく、住宅が破損したり、道路が通行止めになるなどし、孤立してしまった集落もあつたとのことです。

大船渡より  
感謝とエール

平成24年  
7月12日(木)  
大船渡市立  
第一中学校  
学校新聞「希望」  
第21号  
発行責任者 高橋莉子

き 支援物資でい  
ぱいだ、大立根小学校の体育館は、す

大船渡市は、現在も復興に向けて前に進んでいます。現在津波で大きな被害を受けた大船渡町には仮設のお店がたくさんで

☆震災後、復興支援事業のひとつとして、私たちは町付町にホームステイさせて頂きましました。そこでは、内之浦

あの時の肝付町の皆さん  
の姿は、今も私たち  
大船渡市民の心を励  
まし続けています。

王  
國

私たちは中生はその反対で、設住宅の方々との交流を大切に、日々を過ごす

**大船渡**ばっていきます

そして、これからは  
肝付町の皆さんに助け  
ていただいた分、私たち  
の児童はもううん、私たち  
たち一中生も部活等で  
活用しています。また  
私たちの校庭には仮設

勉まし、活躍していろいろと思ひます。  
どんなに離れていても心はつながっていま  
す。私たちは、大船渡から皆さんをずっと応  
援していきます。

中の省ナハをはじめ、岸良中、高山中、波野中、国見中、川上中の方々と父業をしたり、田植えをしたりと、とても楽しい時間を過ぎます」とがで、「たしかこのヤローをもうじまうした。今回の大雨に八十人ほどの被害にも、きっと皆の心をよしむ」と語る。

**復讐の相手となれ  
るようじがんばりま  
す。**

興への鬼い  
や、町づく☆  
りについて  
学び、それ

週りました。渡會さん  
はじめとする肝付町  
のみなさん、お元気で  
してきました。これ  
からの統合学習では、  
津波の被害を受けた  
たくさんの方々に復

いう方がいいかもしれません。渡會さんは立根小学校で支援活動をしていて、私たちの生活が少しでも良くなるようにとたくさん支援をしてくださいました。あれから一年以上が

ちも、皆さんを励まします。肝付町の皆さん  
支えていきたいと思します。肝付町の皆さん  
★ 感謝 渡會史さん  
震災後すぐ来てください。トボーンティア  
の方々の中に鹿児島県の職員・渡會史さんと

すか  
頑張って下さ  
います。大船渡から、応援して

ちが支援や助ましの言葉で肝付町の方々を助けようと感じます。これから復旧・復興

鹿児島では今、土砂崩れの被害で大変だと聞きました。渡會さんたちが被害にあっていいのか、とても心配です。震災後困っています。私たちを助けてくれたように、今度は私た

私は、一中生ままで様々な活動を行い、復興に貢献できるよう頑張っています。これからもたくさんの方々をしていきますが、皆さんを見習い、一生懸命努めたいです。

災害に負けず、頑張って下さい!!!

事を決して心に残すには咸  
謝をして生活していく  
ましょう。

る人達に手を貸しのべる番だと思ひます。  
これからも周囲の人への思いやり・助け合

ないでしょ？ もう一度戻り出してみて下さい。私たちは多くの方々から支えられてきたことを。今度は私達が元気を届けるべきだと思ふ。そして地域や日本全国の困つて、

や思ひに感説する日々を送つて、ます。